

# 働くお母さんにやさしい社会をつくりたい とれない想いで突き進む社会起業家の軌跡

立ち読み版

interview

## 上田理恵子 さん

株式会社マザーネット

うえだ

代表取締役社長

りえこ



プロフィール：1961年鳥取県米子市生まれ。大学卒業後、ダイキン工業株式会社で17年間勤務。仕事と家事・子育ての両立に悩んだ自身の体験を生かして、2001年にワーキングマザーを総合的に支援する会社「株式会社マザーネット」を設立する。働く母親が本当に困ったときに役立つサービスをめざして、家事・育児を代行し、急な子どもの発熱や残業時にも対応するケアリスト派遣業務を中心に、ワーキングマザーを総合的に支援する事業をきめ細かく展開している。受賞は、2007年女性のチャレンジ支援賞（内閣府・男女共同参画担当大臣賞）、2010年に関西財界セミナー賞2010輝く女性賞、2015年に経済産業省中小企業庁 がんばる中小企業・小規模事業者300社、など多数。2016年から追手門学院大学客員教授も務めている。著書に『働くママに効く心のビタミン』（日経BP社）。

【取材・文】 佐藤 智美 中小企業診断士・社会保険労務士 【写真】 松尾 宏幸

### — The prologue

「子どもが病気になったら預けられるところがなく、仕事を休まざるを得ない……」。今も昔も変わらぬ働く母親の切実な悩みである。この課題に正面から取り組んできたのが株式会社マザーネットだ。創業した2001年当時、病児保育を手掛けるベビーシッター会社は、日本にほとんどなかった。そんな中、1年

365日、病児も受け入れるケアリスト（ベビーシッター）派遣サービスの事業を、たった一人で立ち上げたマザーネット代表取締役社長の上田理恵子氏。以来19年間、働く母親を応援する総合サービス事業を展開してきた。社会起業家の先駆けともいえる上田氏にお話をうかがった。

続きは雑誌で